



2024年8月9日

各 位

会 社 名 シンクレイヤ株式会社
(コード番号:1724 東証スタンダード)
(URL <https://www.synclayer.co.jp>)
代 表 者 名 代表取締役社長 山口正裕
問 い 合 わ せ 先 取締役経営企画室長 山口倫正
電 話 番 号 052(242)7875

第2四半期（中間期）連結業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

当社は、2024年2月14日に公表いたしました第2四半期（中間期）の連結業績予想（2024年1月1日～2024年6月30日）と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2024年12月期 第2四半期（中間期）の連結業績予想と実績値の差異 (2024年1月1日～2024年6月30日)

	売 上 高 (百万円)	営 業 利 益 (百万円)	経 常 利 益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 中間純利益 (百万円)	1株当たり 中間純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	5,400	210	220	157	33.90
当期第2四半期実績(B) (2024年12月期第2四半期)	5,079	142	168	117	25.24
増減額(B-A)	△320	△67	△51	△39	
増減率(%)	△5.9%	△32.2%	△23.3%	△25.3%	
(ご参考)前期実績 (2023年12月第2四半期)	5,177	144	166	99	21.48

2. 差異の理由

売上高につきましては、放送用及び通信用光端末の売上減少があったものの、前期に受注した光化工事の進捗及び新規工事案件の受注に努め、概ね計画通りとなりました。

利益面につきましては、トータル・インテグレーション部門で一部の大型工事案件の進捗が想定を下回ったこと、機器インテグレーション部門で一部の大口案件において上期に納品を予定していた納期が下期以降へ後ろ倒しとなったこと、材料費の上昇や円安の影響に対する価格転嫁が当初想定通り進まなかったことにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益が前回発表の業績予想を下回る結果となりました。

3. 配当予想について

当社は、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主に対する利益配分を最も重要な経営課題の一つと考え、安定的に利益の還元を行うことを基本方針としております。前項に記載の通り、中間会計期間の業績予想と実績値に差異は生じましたが、前年同期比で売上・利益ともに同水準であり、足元の受注及び受注残は堅調に推移、下期にかけて工事及び在庫削減の進捗も回復する見込みです。これらを踏まえた今後の経営環境等を総合的に勘案し、当期の中間配当金につきましては、2024年7月26日に当初予想通り8円とすることを公表いたしました。また、期末配当金に関しましても2024年2月14日に公表の通り、1株当たり18円を予定しております。

※上記予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、予想につきましてはさまざまな不確定要素がございますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以 上